第2回 地域別懇談会(9/1-9/2) 主な意見

●南東部地区 9月2日10:00~12:00開催 (出席:8名)

●南東部地区 9月2日10:00~12:00 開催 (出席:8名)	
意見	事務局の回答
調整区域は合併浄化槽というなら、それを明確にし	→前回の地域別懇談会でもこのような意
てほしい。水と緑といいながら、水質はひどくてどう	見を頂いている。これを受けて、水質浄
しようもない。農業用水も家庭排水も一緒になってい	化という方針を位置付けさせて頂いた
る。色分けをどうするかきちんと考えて、密集地帯は	ところである。
汚水排水路を整備する等対策が必要。	
→南東部地域は農地が相当の面積を占めるため、水質	→p.35 の図で分かるように、農地が非常に
はぜひ柱にしなければならない。それから、農業後	多い地域である。後継者の育成等、本計
継者の問題がある。大規模な農業経営ができなくな	画に反映することができない部分につ
った農家がいた場合、その代わりになれる人を市で	いては、担当課に申し伝える。
育てなければいけない。	
→20 年後に農地を誰が守っているのか。すでに農地	→p.34 の事業一覧の中に、集団的な優良農
をやめて休耕地が増えているのが現状である。現時	地の保全として入れているが、具体的に
点では、非常に高齢の方が頼まれて耕作を担ってい	何をしていくかは担当部署が自ら計画
るのが現状である。	をつくり実施していくことになる。ま
	た、農業を含めた産業振興ビジョンを本
	年度末までにまとめあげる予定になっ
	ている。その中で、都市計画課として今
	のご意見もお伝えしていきたい。
みなみ産業団地について、当初は地元も期待してい	→産業の空洞化を危惧する話は他地域で
た。結果的にああいう形になって、団地内はほとんど	も多く出ている。雇用があれば、人が住
が物流倉庫である。新しい産業ゾーンも	みつき、人が増えれば地域は活性化す
計画に出ているが、もう少し地域に密着した工業団	る。産業を市から出さない、また、市に
地にというのをお願いしたい。焼却場の問題もあった	来てもらうことが求められている。
が、足利では、まちの中に廃棄物処理場がある。そこ	一方で、需要は利便性の高い高速道路の
はまちの中だが、周辺に害が出ない処理場がある。そ	IC 周辺に集まっており、そういった面
ういう面では地域の説得をして、広大な土地をつかっ	で不利であるというのが現状である。
て、今回のような失敗がないように進めてほしい。人	その中で、ポテンシャルが高いのは国道
口を増やす方向で考えなければならない。	17 号熊谷バイパスの沿線である。上尾
	道路ができると圏央道の IC までの所要
	時間が短縮される。その暁には、緊急輸
	送道路となり位置づけも高まる。行田の
	中では一番可能性が高い場所と考えて
	いる。

意見	事務局の回答
南東部の道路事情がどう変わるか。朝夕の渋滞、特	→南東部ではアンケート結果からも交通
に埼玉交差点周辺がどう変わるか。その辺の予測はど	面が非常に弱いとされており、道路網の
うなっているのか。将来、交通量がどう変わってくる	整備が南東部にとっては非常に重要で
のか。	ある。P.35 の緑の路線が主な国県道であ
古代蓮等を観光の拠点としていくのだと思うが、そ	り、道路自体は整備されているものの、
ういう面からみたときに、道路がどうなるのか。商業	取り付きが悪かったり、渋滞が起きた
ベースの車と一般市民が生活で使う交通は切り離し	り、歩行者が安全に通行できなかった
た方がよいのではないか。狭くても安心な道路を整備	り、といった事情があるため、これらの
し、通過する車はこちらをお通りください、とする考	路線については、計画に位置づけていき
え方の方がよいのではないか。建設費もそちらの方が	たい。幹線道路と生活道路の役割を住み
安いのではないか。	分けて位置づけていくという考え方は
p.34 事業一覧の中で、地域生活環境の充実の事業	重要である。20 年後にはさらに高齢化
の中で、生活道路の整備及び安全対策とあるが、この	が進み徒歩で生活していく必要も高ま
中に、高齢化が進む中で買い物に行けない点について	ってくる。安全・安心を確保していくこ
は含まれているか。	とが必要で、道路の区分を明確にしてい
	く必要がある。
南東部は農地が多いということで、地場産業として	→行田市はこの5年間で人口が3000人減
農業を活かすことを考えていかなければならない。何	った。このまま何の対策も取らなけれ
か、これは行田でしかできないというようなものを考	ば、20 年後には今の人口の4分の1が
えられないか。米だけでは食えない状況である。農家	減ってしまう推計となる。その上、高齢
でも食えるということを前提に進めていかなければ	化率が 37%という推計である。
ならない。	20 年後の行田市を良い方向に持ってい
	きたい。農業振興について本計画に反映
	できることは限られているが、方向性を
	示す上で漏れがないように示していく。
三齢化率が進行していくが 地域のコミュニティの	→老人ホーム跡地の有効活用のための季

高齢化率が進行していくが、地域のコミュニティの | →老人ホーム跡地の有効活用のための委 場づくりというのも考えてもらいたい。閉鎖となった 老人ホームの建物を壊すのではなく、活用等も検討し てもらいたい。

員会が庁内で立ち上がり検討を進めて いる。